

平成30年度「学校評価」集計結果について

宮城県石巻北高等学校飯野川校

1. 実施期間

平成31年2月11日 ～平成31年2月20日

2. 回答数及び回答率

	生徒全体	男子生徒	女子生徒
回答数	77	53	24
回答率	99%	98%	100%

3. 調査内容（13項目）

下記（1）～（13）の項目について「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の4段階で回答をしていただいた。

- （1）学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている（学習指導）
- （2）挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている（生徒指導）
- （3）進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている（進路指導）
- （4）教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている（教育相談）
- （5）部活動は活発に行われている
- （6）生徒会活動は活発に行われている（生徒会活動）
- （7）有意義な学校行事がある（学校行事）
- （8）地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる（特色ある学校づくり）
- （9）災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている（防災教育）
- （10）学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている（開かれた学校づくり）
- （11）校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている（施設設備）
- （12）学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる（いじめ対応）
- （13）学校生活は充実している（総合満足度）

※質問の表現は生徒へのもので代表させている

4. 調査結果

調査項目ごとの肯定的評価（「よくできている」「だいたいできている」）および否定的評価（「あまりできていない」「できていない」）の回答数,割合,前年比の増減値をまとめたものである。

(1) 生徒アンケートにおける肯定的評価割合

全学年 生徒		回答率 99% 77名						
番号	質問	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	肯定的評価割合(H29)	肯定的評価割合(H28)	前年比
		肯定的評価		否定的評価				
1	生徒にとって、学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている(学習指導)	20	51	2	4	92%	85%	7%
2	生徒にとって、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている(生徒指導)	18	46	9	4	83%	88%	-4%
3	生徒にとって、進路目標の明確化に向けた進路指導が行われている(進路指導)	26	40	9	2	86%	86%	-1%
4	生徒にとって、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができています(教育相談)	26	40	8	3	86%	93%	-7%
5	学校として、部活動は活発に行われている(部活動)	11	41	21	4	68%	74%	-6%
6	学校として、生徒会活動は活発に行われている(生徒会活動)	16	49	10	2	84%	89%	-4%
7	自分にとって、有意義な学校行事がある(学校行事)	15	43	16	3	75%	76%	-1%
8	学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる(特色ある学校づくり)	14	48	12	3	81%	75%	6%
9	災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている(防災教育)	26	39	11	1	84%	88%	-3%
10	保護者に学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている(聞かれた学校づくり)	24	44	6	3	88%	90%	-2%
11	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている(施設整備)	17	41	16	3	75%	68%	8%
12	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる	19	43	11	4	81%	76%	4%
13	自分にとって、学校生活は充実している(総合満足度)	20	40	13	4	78%	83%	-5%
評価合計		252	565	144	40	82%	82%	-1%

(2) 生徒アンケートにおける肯定的評価割合

全学年 保護者		回答率 78% 64名						
番号	質問	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	肯定的評価割合	肯定的評価割合(H28)	前年比
		肯定的評価		否定的評価				
1	お子様の学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている(学習指導)	19	43	2	0	97%	92%	5%
2	生徒に対して、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている(生徒指導)	15	46	3	0	95%	87%	8%
3	生徒に対して、進路目標の明確化に向けた進路指導が行われている(進路指導)	20	34	8	2	84%	87%	-3%
4	生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができています(教育相談)	23	40	1	0	98%	94%	5%
5	学校として、部活動は活発に行われている(部活動)	20	29	11	4	77%	74%	2%
6	学校として、生徒会活動は活発に行われている(生徒会活動)	13	47	4	0	94%	89%	5%
7	お子様にとって、有意義な学校行事がある(学校行事)	16	42	6	0	91%	84%	7%
8	学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる(特色ある学校づくり)	11	44	9	0	86%	82%	4%
9	保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている(防災教育)	18	34	11	1	81%	84%	-3%
10	保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている(聞かれた学校づくり)	16	36	11	1	81%	79%	2%
11	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている(施設整備)	9	42	11	2	80%	71%	9%
12	学校として、いじめの問題に対する取組方針が保護者と共有されている	11	40	10	3	80%	74%	5%
13	お子様の学校生活は充実している(総合満足度)	23	36	4	1	92%	90%	2%
評価合計		214	513	91	14	87%	84%	4%

(3) 生徒アンケートにおける肯定的評価割合

教職員		回答率 100% 13名						
番号	質問	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	肯定的評価割合	肯定的評価割合(H28)	前年比
		肯定的評価		否定的評価				
1	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている(学習指導)	3	9	0	0	92%	83%	9%
2	挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている(生徒指導)	5	7	0	0	92%	83%	9%
3	進路目標の明確化に向けた進路指導が行われている(進路指導)	5	7	0	0	92%	100%	-8%
4	教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができています(教育相談)	5	7	0	0	92%	92%	1%
5	部活動は活発に行われている(部活動)	1	8	3	0	69%	75%	-6%
6	生徒会活動は活発に行われている(生徒会活動)	2	10	0	0	92%	83%	9%
7	有意義な学校行事がある(学校行事)	6	6	0	0	92%	100%	-8%
8	地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる(特色ある学校づくり)	3	6	3	0	69%	83%	-14%
9	災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている(防災教育)	4	8	0	0	92%	50%	42%
10	学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている(聞かれた学校づくり)	5	7	0	0	92%	92%	1%
11	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている(施設整備)	5	6	1	0	85%	83%	1%
12	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる	4	8	0	0	92%	92%	1%
13	学校生活は充実している(総合満足度)	4	8	0	0	92%	100%	-8%
評価合計		52	97	7	0	96%	86%	10%

図 前年比の増減値

(3) 年次比較・推移

表2 (生徒) 平成28年度と平成29年度の肯定的評価および項目ごとの年次比較・推移

年次	年度	肯定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1	H28	87.3%	100.0%	90.0%	90.0%	90.0%	80.0%	90.0%	80.0%	90.0%	85.0%	90.0%	75.0%	85.0%	90.0%
	H29	67.7%	80.0%	64.0%	64.0%	76.0%	56.0%	80.0%	52.0%	68.0%	72.0%	84.0%	60.0%	68.0%	56.0%
2	H28	72.9%	73.7%	78.9%	78.9%	84.2%	68.4%	78.9%	68.4%	63.2%	89.5%	89.5%	47.4%	57.9%	68.4%
	H29	95.3%	100.0%	94.4%	100.0%	100.0%	83.3%	100.0%	100.0%	88.9%	94.4%	100.0%	77.8%	100.0%	100.0%
3	H28	80.6%	73.7%	84.2%	84.2%	94.7%	63.2%	94.7%	63.2%	68.4%	84.2%	89.5%	84.2%	84.2%	78.9%
	H29	81.0%	94.7%	84.2%	89.5%	78.9%	68.4%	73.7%	78.9%	84.2%	89.5%	78.9%	78.9%	78.9%	73.7%
4	H28	87.1%	90.9%	95.5%	90.9%	100.0%	81.8%	90.9%	90.9%	77.3%	90.9%	90.9%	63.6%	77.3%	90.9%
	H29	89.2%	100.0%	100.0%	100.0%	93.3%	66.7%	86.7%	80.0%	86.7%	86.7%	93.3%	93.3%	80.0%	93.3%

5. 結果の概要および考察

(1) 全体

○保護者対象のアンケートでは、概ね前年比で総合的にポイントを上げており、教職員一丸となった基礎基本の習得の徹底や特色ある取り組みをはじめとした様々な試みが評価されていると考えられる。

○生徒対象のアンケートでは、肯定的な評価が80%を超えているものの、前年比でポイントを下げている項目が多く、検証と改善策を立てる必要がある。

○特に学習指導に関し、肯定的評価割合が前年比でポイントを上げており、特に保護者においては100%近くになっている。継続した研究授業や授業評価アンケートの取り組みがこのような評価につながっていることがうかがえる。

(2) 項目

○質問項目(11)「施設整備」について、生徒、保護者および教職員において前年比でポイントを上げている。今年度から新たな校舎環境になったことに伴い、テニスコートをはじめ周辺設備の様々な整備状況が評価につながっていることが示唆される。

○質問項目(12)「いじめ対応」について、生徒、保護者および教職員において前年比でポイントを上げている。教職員一丸となった早期発見および対応がこのような評価につながっていることが考えられる。

○質問項目(8)「特色ある学校作り」について、生徒および保護者において前年比でポイントを上げている。学校外学修やステップアップインターンシップなど新しい特色ある取り組みが評価されているとうかがえる。

○質問項目(9)「防災教育」について、教職員からの肯定的な評価が前年比で40%以上高くなっている。適切な避難方法が教職員に広く周知されるようになったことが示唆される。

○質問項目(2)「生徒指導」および質問項目(6)「生徒会活動」について保護者、教職員ともに前年比でポイントを上げている。前年度に引き続き規律に関するきめ細かな指導や生徒が指示される前に自分達で活発に動くための仕掛けを作ったことが評価されていると考えられる。

○質問項目(13)「総合満足度」について、保護者に関してはポイントを上げている一方、生徒と教職員に関して前年比でポイントを下げている。個々の質問項目において概ね向上している点も鑑み、より充実させるために必要な点を検討する必要がある。

(3) 年次比較・推移

・生徒・保護者ともに、前年度よりも肯定的割合が100%である項目が増えている。全般的に学校としての取り組みが活性化していることが評価されていると考えられる。

・生徒において、今年度の2年次の肯定的割合が非常に高かった。三修制の取り組みを開始した2年次の生徒はこれまでに比べかなり増えており、このような諸活動が高評価に繋がっている可能性がある。

・生徒において、2年次～4年次まで、当該生徒の前年度よりも肯定的に評価している割合が10%近く高まっている。本校のきめ細かな指導が個々の生徒にとって月日が経過するにつれて理解が深められていることがうかがえる。

・生徒において、今年度の1年次の肯定的割合が他の年次に比べて低い。保護者においては他の年次と同程度であるため、初年次の生徒にとってより学校生活を充実させるための方法を検討する必要がある。